



20121106 [1205] 総 169号 発行 坂 桂 自治連合会 広報編集部

西京区総合防災訓練

災害対応能力の向上と 住民と関係機関の連携強化を目指して

10月28日(日)、桂坂小学校において西京区総合防災訓練が実施されました。本年度は桂坂学区が当番学区となり、例年、桂坂学区独自で行われていた防災訓練が、西京区の防災訓練を兼ねることになりました。

自主防災会をはじめとする地域住民および防災関係機関が一体となり災害対応能力の向上と連携の強化や防災意識の高揚を図ることを目的とするこの防災訓練は西京区では毎年行われています。西京区防災会議(西京区役所、洛西支所、西京消防署、西京警察署)と桂坂学区自主防災会、大校学区自主防災会が主催

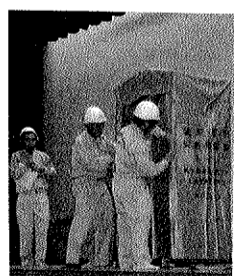


し、他の学区の自主防災会、西京区社会福祉協議会等も参加の形で訓練に参加し、西京消防団の協力もありました。今年から福知山駐屯地の自衛隊も参加機関として加わり総勢約六〇〇名の参加人数となりました。

「午前8時20分、地震発生」の想定で「避難所訓練」が始まりました。各自自主防災部から「広域避難場所」となっている桂坂小学校まで、決められた避難経路を通過して避難し、「煙中避難訓練」を行った後、各自自主防災部長は情報部長に「避難完了、避難人員、災害状況」を報告し、次に情報部長は自主防災会長に報告するという一連の訓練を行います。並行して、

あいにく雨の日になつてしまい、「大規模災害対応訓練」(救出救護、消火訓練、一斉放水)は行われなくて、体育館に設定された避難所における「災害時避難所生活訓練」、「給食訓練」を体験しました。

その後、設置された避難所(体育館)に全員が移動しました。避難所では避難所運営協議会(避難所開設訓練)の「運営訓練」が行われていました。避難所運営協議会のメンバーは、自主防災会長、情報部長、消防部長、救出救護部長、避難誘導部長、給食給水部長と災害時には中心となる人たちで構成されています。避難所運営協議会からは災害状況や対策の報告がありました。



「避難所生活訓練」は初めての体験です。災害時には何が起るか想像もつきません。お互いに協力をして迅速に対応することが必要だということをもつて体験できたように思います。「避難所運営」では、

- (1) 通路づくり
- (2) 男女の更衣室
- (3) 情報掲示板の設置

桂坂小学校の話

10月5日(金)、終業式の日、京都市の人権擁護委員会から「人権の花」である水仙の球根が贈られました。

2月頃に花が咲き、馥郁(ふくいく)たる香りを一帯に漂わせますが、学校では「心の中にも思いやりの花を咲かせてくれれば」と願っておられます。

10月9日(火)、桂坂小学校では後期授業が始まり、その日、桂坂教育後援会より学校図書が贈呈されました。

平安騎馬隊が安全指導終了後、1、2、3年生を対象に平安騎馬隊の安全指導が行われました。

「騎馬隊がグラウンドを駆け出すと、大きな歓声がわき上がりました。駆け馬が終わった後、馬に触る時間も設定されました。

喜んで触れる子どももおそろおそろ触れる子どももいました。みんな笑顔で安全に下校して行きました。(桂坂小学校「桂坂だより」10月号より)

桂坂統一ふれあいクリーンデー

11月11日(日) 午前9時~

当日は、各自治会指定の場所に集まり、一汗かきましょ

平成24年度 自治記念日表彰

京都のまちづくりに 貢献された人たちに

去る10月15日、京都市自治記念式典が開催されました。

わが国に「市制」が施行された明治22年、東京や大阪とともに「市制特例」により自治権が制約され、府知事直轄の市政運営を強いられました。

しかし、京都の先人は「自らが地域を守り、支える」という強い気概を持って、真の自治権を求める運動を粘り強く繰り返し、ついに明治31年、市

制特例の撤廃、自らの手による市長の選任、市役所の開庁を成し遂げ、

京都市が「真の自治権を獲得したその日」が10月15日、「自治記念日」です(門川京都市長の挨拶より摘録)

世界の人々を魅了し続ける京都のまちを歴史・環境・教育・福祉・文化芸術・国際・観光・ものづくりなど様々な面から支えて来られた方々がその功績を称えられ表彰さ

れました。桂坂では次の方々です。

■ 姉妹都市交流促進特別表彰

・桂坂緑水会

■ 「未来の京都まちづくり推進表彰」

・佐川 早苗

・森園 秀治

■ 「京都ならではの環境との共生や景観の創生を目指した活動」

・社会福祉法人京都市社会福祉協会

・桂坂保育園

■ 「誰もがいきいきと暮らせるよう ひとを育てまちを元気にする活動」

・服部 憲夫

・京都市西京区桂坂かえで地区建築協定運営委員会

・シルフィード合唱団

・シルフィード室内楽団

・洛西ふれあいの里

・デイサービスセンター

おめでとうございます。今後とも桂坂学区の恵まれた生活環境の維持発展と、なお一層の発展のためにご尽力いただきますようお願いします。

日本画家 中路融人氏 文化功労者に選ばれる

かえで自治会域にお住いの日本画家・中路融人氏が文化功労者に選ばれ、11月4日その功を讃えられ顕彰されました。

琵琶湖周辺の風景を好んで描かれる氏は、文部大臣賞や日本芸術院賞など受賞されています。桂坂学区の創立10周年に際して桂坂小学校に寄贈された『松籟』と題する作品(百号)は、「近

気をつけなければならぬことが三つあります。(1) 通路づくり (2) 男女の更衣室 (3) 情報掲示板の設置

適宜、適切な情報提供 できるだけ多くの箇所に掲示板をつくる

災害対策本部長(洛西担当区長)の訓練に対する講評や、西京区自主防災連絡協議会会長(菊池潤治会長)の挨拶の中でお二人とも、やはり「日頃からの地域活動の大切さ」を訴えておられました。

災害を最小限にとどめるには、それぞれの地域での活動、隣近所同士の適度なお付き合いが大切になってくると思えます。日頃から家族の間で

喜んで触れる子どももおそろおそろ触れる子どももいました。みんな笑顔で安全に下校して行きました。(桂坂小学校「桂坂だより」10月号より)

体育祭 御礼

桂坂体育振興会 会長 布本和久 役員一同

西山の秋色すでに酩で樹々の梢も色鮮やかに染まりました。

桂坂の皆様方、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて過日、10月7日に開催しました第22回桂坂学区民体育祭は、一時雨に見舞われたもののスポーツ日和に恵まれ、大枝中学校吹奏楽部による入場行進曲の素晴らしい演奏で始まり、皆様方のご参加、ご協力を得て、盛大の裡に終了できました。本当にありがとうございました。

お蔭様で、子どもたちからお父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんまで、多くの世代の方々が一つところに集まり、ご近所の皆様方とも楽しく過ごされて、コミュニケーションの充実を更に深められたことと思えます。私たち役員一

「体振」ニュース

もくれん自治会 心を一つ

総合優勝

今年も総合優勝は、もくれん自治会でした。準優勝は、にれのき。3位あかしあ、4位もみのき、5位つばき、6位

同、皆様方の喜んでいただいている、あの素敵な笑顔を見せ、安堵いたしております。

これからは体育振興会はスポーツを通じて地域の皆様の健康増進や親睦づくりを目指し、更なる進展のために事業を進めてまいります野で、ご参加をお待ちしています。

最後になりましたが、この体育祭の原動力となる貴重な協賛金および助成金、また、お祝金を頂戴いたしました皆様方に厚く御礼を申し上げます。それとともに、選手集めをしていただきました各自自治会の体育委員の皆様、そしてお手伝いいただきました桂坂自治連合会を中心とした各自自治会および各種団体の皆様方にこの紙面をお借りして御礼申し上げます。有難うございました。

玉入れ

- 1位 つばき 2位 もくれん 3位 あかしあ

大玉ころがし

- 1位 あかしあ 2位 にれのき 3位 ひいらぎ

輪投げリレー

- 1位 はなみずき 2位 もくれん 3位 さつき

小学生リレー(女)

- 1位 にれのき 2位 もくれん 3位 しらかば

小学生リレー(男)

- 1位 もくれん 2位 あかしあ 3位 にれのき

一般リレー

- 1位 もみのき 2位 さつき 3位 もくれん

第22回西京区民女子ソフトボール大会

桂坂チーム 準優勝

9月16日、光華大原野グラウンドにおいて西京区民女子ソフトボール大会が開催されました。わが桂坂チームは、Bブロックにおいて堂々の準優勝。

第1試合は、大枝チームに7対3で勝利し準決勝に進出。準決勝は桂東チームに12対3で圧勝し

決勝に進出しました。

決勝では桂川チームに5対12で敗れて準優勝。残念な結果となりましたが、立派でした。今後の健闘を祈ります。

桂坂体育振興会

西総合支援学校 学子文化祭

展示発表(常設) 11月19日(水) 11月21日(水) 9時40分~11時50分

展示発表(常設)

11月19日(水) 11月21日(水) 9時40分~11時50分

ステージ発表(体育館)

11月21日(水) 9時40分~11時50分

ステージ発表(体育館)

11月21日(水) 9時40分~11時50分

山の手倶楽部だより

趣味の作品展

今年も力作そろい鑑賞者を魅了

山の手倶楽部では今年も先月の25、26日の両日京都中央信用金庫桂坂支店の2階ホールで「趣味の作品展」を開催しました。

今回19回目を数える作品展に、各自自治会や関係諸団体の皆様、当倶楽部の会員や西京区老人クラブの仲間など二〇〇名を超える来場者で、会場は終日賑わいました。

この作品展は、当倶楽部の写真、書道、俳句、絵画の四同好会の人たちが一年を掛けて研鑽された作品九十九点と、一般会員から手芸、工芸など感性豊かな作品三五点が展

示されました。

京都市老人クラブや西京区老人クラブでも作品展を開催していますが、当倶楽部の、地域に密着したアットホームな会場の雰囲気や、展示された作品の素晴らしさは高く評価され、『京都新聞』(25日朝刊)でも「住民の芸術活動への思いが伝わる」と紹介されました。

来場された方から「私も選歴を過ぎたから入会しようかな」の声に、改めて地域の皆様にご理解・ご支援をいただくよう決意しました。

現役を離れられた皆さん、新しい活躍の場として当倶楽部を選んでください。期待に沿えるよう一七の同好会が待っています。

事務局

古墳の森講演会

古代の「大枝」をハイテクで

10月21日(日)、桂坂小クローバーホールで「桂坂古墳の森講演会」が開催されました。日文研副所長・宇野隆夫教授による「ハイテクで大枝の文化財を探る」がテーマ。平安京遷都(七九四)以前は京都盆地の中心地は乙訓郡であり、特に大江区(香掛・大枝山・塚原・中山・西長・東長・福西など)には古墳、御陵はじめ文化財が多いがなぜなのか、「大枝」の地名の由来は――以下要約

「大枝」は山陰街道が山陰街道本道、側道(丹波街道)、物集女街道に「枝分かれする」巷であり交通の要衝であったことに由来する。そしてこの地の利を生かして古墳

時代から奈良時代にかけて活躍したのがハイテク集団の土師氏であり、焼物、土木工事、古墳の築造を手がけた。土師氏はまた、桓武天皇の母(高野新笠)方の実家であり長岡京遷都に功績があったとして「大枝」の姓を賜った。大枝(大江)氏は、大江千里、匡衡、広元、赤染衛門、和泉式部など学問芸術に長けた人材を輩出した。「大枝」は当地を本拠としたハイテク集団の活発な活動地であり多くの文化財が残されたが、交通の要所であったことが一つの背景として考えられる。

訂正とお詫び

広報「桂坂」168号に次の二箇所誤りがあります。

1面「桂坂防犯ステーション発足」の中の大枝交番の電話番号「33112856」は33112896の誤りです。

2面「赤い羽根共同募金のお知らせ」の文中の「12月13日」も「12月31日」の誤植です。

関係各位にご迷惑をおかけしました。訂正してお詫びいたします。

広報編集部

桂坂「古墳の森」 秋の特別公開 11月25日(日) 午前10時~午後4時 小雨決行 京都市埋蔵文化財研究所が「出前講座」開講 京都市・桂坂古墳の森保存会 共催

美しく紅葉した樹木と竹や常緑樹の織りなす彩り豊かな「古墳の森」の中には14基の円墳が鎮座します。洛西ニュータウンの東に連なる向日丘陵には100米近い、スケールの大きい前方後円(方)墳数基が在り、これらは古墳時代前期(3世紀後半から4世紀)の、乙訓地方に勢力をもった首長たちの墓だといわれます。桂坂の「大枝山古墳群」は、6世紀後半に造られた円墳の群集する、やはり地域の有力者の墓所であり、現地に現状保存された今では貴重な市の史跡です。うち14号、15号、21号の3つの古墳は当日、石室内もご覧いただけます。また、目の前に円墳に見える「憩いの広場」では「出前講座」が開講され、「あんぎん編み」の古代人の服装を試着したり、「火起こし」体験、「勾玉づくり」(完成までに約1時間)など「古代体験」ができます。近くには紅葉のきれいな野鳥遊園や桂坂公園、それに東海自然歩道があります。散策がてらにどうぞ、ご家族おそろいでお越しください。

17日(土)午前9時より「森」の清掃を行います。作業内容は、草取りと枯れ枝拾い(集め)です。ご協力いただけたら幸いです。集合場所は南門(桂坂公園の北)